

# 諸福小だより

大東市立諸福小学校  
平成30年9月21日(金)  
第9号 校長 小林 享子  
072-873-5716

## 2学期最初の授業参観

9月12日(水) 授業参観と学年・学級懇談会がありました。授業参観は、どの学年もたくさんの保護者の方が来ていただき、ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

## 楽しかったレインボー祭り

9月19日(水) 児童会主催のレインボー祭りが行われました。「大満足の思い出をつくろう」という目標の下、3年生～6年生が遊びコーナーを設けて、午前中の楽しい時間を過ごしました。1年生と2年生は、スタンプカードの絵、ポスター、かざり絵などを担当しました。児童朝礼で、各学年学級の出し物の紹介がありました。レインボー祭りが始まると、「〇〇楽しいですよ～。来てくださ～い。」と一生懸命宣伝する姿や、上級生が下級生を上手にエスコートする姿がたくさん見られました。笑顔いっぱいの児童会行事でした。



1, 2年生作製の看板



3年生ミサンガ作り



ストラックアウト



4年生スーパーボールすくい



4年生キック対パ-



5年生ダイヤモンドさがし・豆つかみ



6年生もぐらたたき



6年生サスケ



お店まわりの様子



## 体験したことは身につく

9月、10、11月は、各学年秋の校外学習と6年生は修学旅行と校外に出ていく行事が多くなります。子どもたちはその中で、様々な体験や経験をしてくると思います。「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」とよく言われます。この出展は『荀子』儒効編の「不聞不若聞之、聞之不若見之、見之不若知之、知之不若行之」（聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは、見ることに及ばない。また見ることは、理解することに及ばない。しかし理解することは、それを実践することに及ばない。したがって学問は実践の段階にまで至って終わるのである）だそうです。（『中国名言名句の辞典』小学館）体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。

体験にはさまざまなものがあります。原体験、自然体験、社会体験、奉仕体験活動等にわけられることもあります。学校生活の毎日も新たな体験活動があります。学習体験もその一つです。休み時間に友だちと遊ぶこと、給食の準備をして仲良く食べること、掃除の時間に教室や学校のなかを綺麗にすること。まさに毎日が体験活動であり、その中で子どもたちは人間として必要なことを学んで成長しています。学んだことを知識として蓄えることが目的ではありません。今求められている力は、学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階で試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。逆に失敗の数だけまた成長していくのかもしれない。

体験したことを身につけるために三つの大切なことがあります。一つ目は、その体験のめあてをしっかりとつこと。ただ何となくやってみた、こんなことをやらされた、では何も身につけません。二つ目は、体の全感覚を使って、「なぜだろう、どうしてだろう」と問いかけをもって考えることが大切です。自分なりの考えをもち体験することで、より深く自分の力になります。三つ目は、さまざまな体験のなかでの人とのかかわりを大切にすること。一人ではできないことも力を合わせればできることがたくさんあります。力を合わせてできたことは何よりの宝となります。

## 校外学習・社会見学行先

学年	行 先
1年	京都市水族館（鉄道博物館）
2年	いもほり（寝屋観光農園）
3年	信貴山（大根堀り）雨天：ビッグバン
4年	枚方ごみ処理場、村野浄水場 コリアタウン
5年	明治ヨーグルト工場・関西空港見学 スキー大山国民休暇村（3学期）
6年	修学旅行（広島・宮島・大久野島） 卒業遠足・枚方パーク（3学期）



### 《紹介》

2学期よりAET（外国語）として、ベネット・ティプトンが着任しました。9月3日から28日まで教育実習生が本校で学んでいます。本校の卒業生です。教師になるために頑張ってくれています。安達 諒さんは1年3組で実習を行っています。たくさんのことを学んでいって欲しいです。また、たくさん感動を子どもたちと一緒にしてくれることでしょ。